



関西医科大学 広報

Kansai Medical University Public Relations



建学の精神

本学は、慈仁心鏡、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。

2013年 枚方新学舎元年



4月のオープンを待つ枚方新学舎。間もなく関西医科大学の新たな歴史がスタートします。=1月5日撮影

CONTENTS

法人 年頭所感	2	附属看護専門学校	14
新年賀詞交換会	6	卒後臨床研修センター	14
医療安全大会	7	同窓会	15
大学 新学舎開設後の学生生活について	9	メディア情報	16
病院	12	お知らせ	16

法 人

◆11～12月の主な行事

日程	行事名	場所
11月8日	医療安全大会	附属3病院
12月15日	地域医療連携フォーラム	附属枚方病院

全教職員のベクトル一致で夢実現へ 新年賀詞交換会

仕事始めの1月4日(金)午後4時から「理事長・学長新年挨拶(年頭所感)及び賀詞交換会」が附属滝井病院本館6階大講堂で開催されました。教職員一同は、滝井地区は同講堂、附属枚方病院は13階講堂および合同カンファレンスルーム、香里病院は8階会議室にそれぞれ集結、両病院に同時中継されました。

山下敏夫理事長・学長は年頭所感で新年の抱負や本学の未来について述べた後、「全教職員が目指すべき将来像をしっかりと持って、ベクトルを一致させ、本学の明るい将来に向かって歩むことは極めて大切。情熱を持って共に歩み、夢を実現させよう」と締めくくり、教職員は今年一年の目標達成に向けて士気を高めました。引き続きの賀詞交換会では、岩坂壽二常務理事が乾杯の挨拶で「夢が膨らめば膨らむほど思わぬ障害も出てきます。そういう時こそ力を結集させて乗り切ろう」と呼び掛けました。

法人主催の新年賀詞交換会に続いて学部、附属3病院の賀詞交換会がそれぞれ開かれました。学部は専門部学舎1号館5階大会議室で行い、伊藤誠二副学長が「当たり前が当たり前でできない場合に想定外がよく使われるが、引越しに向け“想定外”の事が起きないようにしっかり準備してほしい。また、巳年には『事を始める』と言う意味もある。新学舎で新たな一歩を大きく踏みだそう」と挨拶し、教職員は新たな出発に向けて意欲を高めました。附属枚方病院は13階講堂で開催し、今村洋二病院長が「今年は、PDCAサイクルを回すことや、各部門間の連携を図り、お互いのことを考えて行動してほしい」と述べたほか、事務部門について「新しい発想でいかに能率よく業務を遂行できるかが課題である」と言及しました。附属滝井病院は本館6階大講堂で開催し、岩坂壽二病院長が「今年は開院から81年目の年。そして、いよいよ病院のリニューアル工事が始まる。『飛躍81』をキーワードとし、全員で力を合わせて駆け上がっていきよう」と呼び掛けました。香里病院は8階会議室にて開き、高山康夫病院長が「外来患者数・手術件数など開院時の想定を超え、順調に推移している。今後は周辺状況に応じた対応が必要となり、より忙しくなると思うが、これからも地域に根ざす、患者さんにとって優しい病院であるよう、各自が工夫し前向きに業務に取り組んでほしい」と抱負を述べました。



年頭所感を述べる山下理事長・学長

医療安全と感染制御に向けて 第9回医療安全大会開催

「第9回医療安全大会」が11月8日(木)午後5時30分から、附属の枚方、滝井、香里の3病院において、テレビ会議システムを用いて開催され、3病院の5名が医療安全や感染制御をテーマにした講演を行いました。この大会は各病院による優れた施策や取り組み事例の発表を通じて学内の医療安全文化の醸成につなげることが目的で計470名が参加しました。

医療安全管理センターの宮崎浩彰副センター長が司会を務め、冒頭の香里病院の高山康夫病院長の開会挨拶でスタートしました。この後の山下敏夫理事長・学長の挨拶では、医療事故や感染症の防止に向けて私立医科大学の病院間で実施している相互ラウンドのほか、2013年4月から3病院全ての病棟に配属される「病棟薬剤師」について紹介、さらに「明日からのさらなる安全な医療につなげてください」との力強いメッセージがあり、参加した教職員は医療安全の向上に向けて士気を高めました。



司会を務めた宮崎副センター長

第5回地域医療連携フォーラム開催



地域の医療機関と交流を深めた地域医療連携フォーラム

第5回地域医療連携フォーラムが12月15日(土)午後4時から、附属枚方病院13階合同カンファレンスルームで開催され、地域の医療関係者41名が参加しました。フォーラムは、地域の医療機関と本学の医師との交流が目的で、この日は本学教員2名の講演が行われました。内科学第一講座の宮良高維診療教授(附属枚方病院血液呼吸器膠原病感染症内科)は「インフルエンザとそのトピックス」と題し、インフルエンザについて症例データをみながら、重症化や死亡につながる危険因子、感染防止、治療について解説しました。外科学講座の山尾順助教(附属滝井病院外科)は「動脈・静脈疾患の治療方針とその対応」をテーマに、高度な手術映像を放映するなどしながら、脈管疾患の診断や治療に加え、緊急性の目安などについて説明しました。

法人

寄付金

枚方キャンパス統合移転整備事業寄付金として平成24年11月1日から平成24年12月31日までにご寄付いただきました方々のご芳名（五十音順）を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。なお、募集当初から平成24年12月31日までの寄付金累計額は7億4,948万8千円です。



～ 平成24年1月1日～12月31日までにご寄付いただきました方(個人)へ ～

1月中旬に、本学募金室から所得税減税手続きについての詳しいご案内を郵送いたしますので、確定申告期間に所管税務署で確定申告をしてください。

※大阪市に住所を有する方は、大阪市の条例により翌年分の個人市民税税額控除の適用も受けられます。
 ※法人でのご寄付にも税制上の優遇措置があります。受配者指定寄付金制度を利用すれば、**寄付金全額が損金に算入**されます。

減税手続きについてのお問い合わせは、関西医科大学募金室(TEL：06-6993-9556)まで。

関西医科大学枚方キャンパス統合移転整備事業募金のご案内

1. 募集対象

同窓会会員、本学学生の保護者、教職員、本学関連の個人および法人

2. 募集金額

1口10万円
 1口未満でも申し受けます。

3. 申込方法

寄付申込書に所定事項をご記入ご捺印の上、お申送ください。寄付申込書は下記の3種類がありますので、いずれかをご提出ください。

・個人の場合：特定公益増進法人申込書

・法人の場合：

- (1) 特定公益増進法人申込書
- (2) 受配者指定寄付金申込書

4. お問い合わせ先

関西医科大学枚方キャンパス統合移転整備事業
 募金委員会事務局
 〒570-8506

大阪府守口市文園町10番15号

TEL：06-6993-9556(直通) FAX：06-6993-5221

E-mail：bokin@takii.kmu.ac.jp

URL：http://www.kmu.ac.jp/bokin/index.html

法 人

新学舎情報

新学舎 まもなくオープン

枚方新学舎は、1月31日(木)に本学に引き渡される予定です。「グリーン&エコ」のコンセプトのもと、建設した新学舎は敷地面積25,000㎡、延べ床面積42,000㎡と広大であることに加え、学生の教育、研究面において、一層の充実が図られます。3月23日(土)には現地で竣工式が行われる予定(詳細は16ページ記載)で、4月から新学舎における学生生活が始まります。新学舎の住所と電話番号は以下の通りです。

住所：〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号 電話：072-804-0101



新学舎の正門付近

大 学

関西医科大学学長選挙結果

本学学長選考規程にもとづく学長選挙が行われ、12月25日付け学長選挙管理委員会より、無投票(単一候補により)で、学長候補者の山下敏夫現学長を当選者と決定することが公示されました。

◆11～12月の主な行事

日程	行事名	場所
11月9日	医師国家試験激励会	ホテル・アゴラ大阪守口
11月25日	医学部推薦入試二次試験	専門部学舎

日程	行事名	場所
12月6日	大学院教育FD	専門部学舎
12月17日	国際交流フォーラム	ホテル・アゴラ大阪守口

「新学舎開設後の学生生活について」

学生部長 楠本 健司

関西医科大学では平成25年4月1日に心待ちにしていた枚方新学舎が開設され、ようやく1学年から6学年までのすべての学生が同じ枚方キャンパスで集い学ぶことができるようになります。京阪電車の枚方市駅から西の大学キャンパスに向かいますと、右手に医学のシンボルとしての新学舎、左手には臨床のシンボルとしての附属枚方病院が望めます。

新学舎内では、学生にとっての最新設備が整った講義室、実習室、チュートリアルルーム、シミュレーションセンター、自習室、学術情報センターとしての図書館などを配備する最高の環境での学習が行えます。

また、生活面では学生健康管理室、学生自治会室、学生相談室、学生多目的室、オープンラウンジをはじめ、淀川を眺めながら安らげるテラス、広い食堂、談話できる緑豊かな中庭など学生にとっての安らぎとコミュニケーションを育むすばらしい環境が備わっています。

学生諸君には、将来心豊かで知識、技量、態度が備わった実力ある医師になれるように、この最高の設備と環境の新学舎で医学と臨床という2つの大きな資産を体得し、実り多い学生生活を過ごしてもらいたいと思っています。

研究医、がんプロ養成に向けた基盤整備事業に採択

教育改革のこれまで以上の新展開を図ることを目的とした、文部科学省の平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に本学が申請した「研究医、がんプロフェッショナル養成のための基盤整備」が採択されました。平成25年度からの新学舎での6年一貫教育による学問的探究心を備えた、医師養成強化に向けた教育カリキュラムの策定、及び自主学修や大学院生の研究にも利用されることなどが評価されました。交付内定額は49,980千円で、組織病理切片から極めて微小な領域を迅速かつ精細に採取できる機器と、物質を分離同定できる質量分析器を購入、24年度3学年3学期の分属実習から使用を開始します。

医学部研究医枠で定員2名増

平成25年度以降の本学は医学部の入学定員を112名とします。平成24年度の定員110名からの2名増員です。近年の医師不足や地域の医師確保などの観点から平成22～24年度に認められた医学部の定員増員と同様の枠組みで、緊急臨時的に増員を認められた枠のうち、複数大学の連携により研究医養成の拠点形成する大学の入学定員の増員(研究医枠)として採択されたものです。今後は奈良県立医科大学、大阪医科大学の連携大学とともに研究医養成の拠点づくりに取り組みます。

大 学

教員と事務職員の連携が大切 近畿大学藤阪講師が大学院教育FDで講演

「第6回大学院教育FD」が12月6日(木)午後5時30分から、専門部学舎5階大会議室で行われ、大学院の助教以上の教員19名が出席し、伊藤誠二副学長と中邨智之大学院教務部長がそれぞれディレクター、サブディレクターを務めました。近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門の藤阪保仁講師が「6大学連携オンコロジーチームから7大学連携先端のがん教育基盤創造プランへ～がん専門医療人養成の試み～」と題して熱弁を振るわれました。「7大学連携先端のがん教育基盤創造プラン」は近畿大学と本学を含む7大学が連携して高度ながん診療と研究を实践できる人材養成の基盤を整備するプロジェクトで、大学院教育FDは同事業の学内周知の徹底を図り、今後のプロジェクト運営につなげることを目的に実施されました。藤阪講師は第1期プロジェクト「6大学連携オンコロジーチーム養成プラン」の特徴に加え、近畿大学のチームの成果について紹介され、さらに事業運営のポイントについてもふれ「職種や臓器を横断するプロジェクトなので柔軟なマネジメントが必要。教員と事務職員の強固な連携による運営が大事」と締めくくられました。



近畿大学の取組み事例を紹介する藤阪講師(右奥)

※FD(ファカルティ・ディベロップメント)とは、授業改善のための活動の総称

異国異文化の体験発表通じて交流 第1回国際交流フォーラム

山下理事長・学長(中央)、友田国際交流センター長(右端)、木梨達雄教授(左端)と記念撮影する留学生



12月17日(月)午後6時からホテル・アゴラ大阪守口において、第1回国際交流フォーラムが開かれ、山下敏夫理事長・学長、友田幸一国際交流センター長をはじめ留学生、教職員、学生合わせて51名が参加し、交流を深めました。これは平成25年度から枚方新学舎に開設される国際交流センターの活動の一環として、「IFS(関西医大国際交流協会)国際交流フォーラム」と「留学生交歓会・発表会」を統合した新しいイベントで、中川淳教授の総合司会により、各分野からのプレゼンテーションが行なわれました。留学生からは母国の紹介や日本での生活、研究内容など、教職員からは海外でのボランティア活動や留学体験など、学生からは国外臨床実習などについて英語もしくは日本語で発表され、活発な意見交換が行われました。併せて、優秀な業績を収めた留学生に贈られる留学研究賞が発表され、医化学講座に在籍していた陸景珊さんが受賞しました。会場には温かい食事や飲み物、クリスマスケーキも用意され、参加者は和やかな雰囲気の中、互いに交流を深めました。

合格に向け教員エール 医師国家試験激励会開催

医師国家試験(2月9～11日)を間近に控えた11月9日(金)午後6時15分から、医師国家試験激励会がホテル・アゴラ大阪守口において開催されました。本学の国試対策委員会と国試対策協議会が主催、同窓会、加多乃会、慈仁会の共催で、山下敏夫理事長・学長はじめ教員17名と、受験する6学年学生ら97名が出席しました。山下理事長・学長、西山利正同窓会理事がエールを送るとともに、医師国家試験直前3か月の取組み方について、友田幸一専門部教務部長、金子一成国試対策委員会委員長、藤代定志研修医からの講演がありました。その後の懇親会では、学生たちは教員から励ましの声援を受けるとともに、友人と歓談するなど終始リラックスした様子で、本番に向けて英気を養いました。

医学部推薦入試10名合格

平成25年度医学部推薦入学試験の第2次試験が11月25日(日)午前9時から専門部学舎で実施され、小論文、適性検査、面接(集団、個別)の各試験が行われました。第1次選考(書類選考)を通過した受験生52名のうち、10名の合格が11月30日(金)に発表されました。

大 学

平成25年度医学部一般入試とセンター試験利用入試のお知らせ

◆一般入試

医学部一般入試の第1次試験は1月26日(土)午前9時から、大阪、東京の2会場で行われます。

大阪会場

インテックス大阪6号館

(大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102)

- ・地下鉄、ニュートラム「コスモスクエア駅」より徒歩約10分
- ・ニュートラム「トレードセンター前駅」より徒歩約8分
- ・ニュートラム「中ふ頭駅」より徒歩約5分

※上記は駅から西ゲートまでの目安の時間です。

なお、誘導係の配置は「中ふ頭駅」から西ゲートのみ、東ゲートは閉鎖しています。



詳細は <http://www.intex-osaka.com/jp/access/index.html> をご覧下さい。

東京会場

TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター

(東京都中央区京橋2-3-19 TKP八重洲ビル)

- ・JR「東京駅(八重洲南口)」より徒歩4分
- ・銀座線「京橋駅(7番出口)」より徒歩2分
- ・都営浅草線「宝町駅(A5番出口)」より徒歩4分
- ・有楽町線「銀座一丁目駅(7番出口)」より徒歩5分



詳細は <http://tkptokyo-cc.net/access.shtml> をご覧下さい。

【一般入試第1次試験合格者発表】

日時：平成25年2月5日(火)午後3時 場所：本学教養部学舎(掲示)

合格者の受験番号は本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp>)でも発表します。

◆センター試験利用入試

医学部センター試験利用入試の第1次試験は1月19日(土)、20日(日)に大学入試センター試験各試験場で行われます。

【センター試験利用入試第1次試験合格者発表】

日時：平成25年2月6日(水)午前10時 場所：本学教養部学舎(掲示)

合格者の受験番号は本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp>)でも発表します。

※第2次試験(第1次試験合格者のみ)は、本学専門部学舎で実施します(詳細は合格者に通知します)。

病 院

◆11～12月の主な行事

日程	行事名	場所
11月13、14、21、22日	中学生職場体験学習	附属滝井病院
11月29日	循環器救急フォーラム	ホテル・アゴラ大阪守口
11月29日	教育講演会	附属枚方病院
11月30日	秋季消防訓練	附属枚方病院
12月1日	市民公開講座	附属枚方病院

日程	行事名	場所
12月1日	肝臓病教室	附属滝井病院
12月1日	クリスマスハンドベルコンサート	香里病院
12月13日	医療安全相互ラウンド	香里病院
12月14日	医療安全講演会	附属枚方病院
12月15日	クリスマスコンサート	附属枚方病院
12月15日	クリスマスコンサート	附属滝井病院

附属枚方病院

インフルエンザや不整脈についてわかりやすく解説

有意義な講演会となった市民公開講座



12月1日(土)午後2時から、附属枚方病院13階講堂において市民公開講座が開催され、高齢者を中心に約120名が参加しました。今村洋二病院長を座長に、内科学第一講座の宮良高維診療教授(血液呼吸器膠原病感染症内科)が「インフルエンザについて」、また内科学第二講座の塩島一朗教授(循環器腎内分泌代謝内科)が「不整脈の診断と最新の治療」をテーマにそれぞれ講演しました。宮良診療教授は、インフルエンザの予防対策や治療方法などについてわかりやすく解説、塩島教授は不整脈のメカニズムや最新治療などについて紹介しました。講演会終了後は、参加者からの講師への質問が相次ぎました。

クリスマスコンサートで患者さん笑顔に

12月15日(土)午後2時30分から、附属枚方病院2階エントランスホールで大阪国際滝井高校吹奏楽部の皆さんによるクリスマスコンサート(同病院ボランティア委員会主催)が開催され、約280名の患者や家族の方々が参加されました。クリスマスソングやポップスなど9曲が披露され、参加者の表情に笑顔が広がりました。



吹奏楽の演奏で「元気」が贈られました

秋季消防訓練実施

11月30日(金)午後3時30分から秋季消防訓練が実施されました。開院以来、多くの職員に訓練を経験してもらうことを目的に、毎回出火場所を変えて訓練を実施しており、今回は7N病棟715室での出火を想定し通報、消火、避難の自主訓練が行われました。参加したスタッフは本番さながら真剣に取り組んでいました。終了後には寒風の中、地下ドライエリアにおいて、水消火器や実際の廊下に設置されている屋内消火栓を使用しての放水訓練も行われました。



消火作業の訓練を行う職員

附属滝井病院

弦楽四重奏でクリスマスソング演奏

12月15日(土)午後2時から、附属滝井病院本館6階臨床講堂で弦楽四重奏団「ナチュレ」の皆さんによるクリスマスコンサート(同病院ボランティア委員会主催)が開催され、144名が来場されました。クリスマスにちなんだ曲や懐かしい曲、ポピュラー曲がバイオリン、ビオラ、チェロで奏でられ、会場は美しい音色に包まれました。



弦楽四重奏の音色に包まれる会場

病 院

救急隊との「顔の見える関係」構築目指して 循環器救急フォーラム開催

11月29日(木)午後5時30分から「第1回循環器救急フォーラム」がホテル・アゴラ大阪守口で開催され、大阪市消防局の山城芳生救急施策担当課長はじめ、近隣各市(区)の救急担当課長ら84名の救急隊員が参加しました。附属滝井病院の「循環器腎内分泌代謝内科(循環器科担当部門)」では、現在、救急医療体制の充実強化に取り組んでおり、来年早々には「救急告示診療科」となることを目指しています。そのため、フォーラムを通じて救急隊との連携をさらに深め、知識や技術の向上を図ることに加え、相互に積極的に意見交換できる「顔の見える関係」の構築が不可欠なことから、近隣地区の消防本部に参加を呼び掛けました。冒頭、新附属滝井病院の建設計画について岩坂壽二病院長から具体的な紹介があった後、第1部は「症例検討」「教育講演」「討論会」が行われたほか、第2部の「意見交換会」では日頃の情報を交換するなど交流を深めました。



顔の見える関係の構築を目指して開催されたフォーラム

「肝臓病に関連したおなかの病気」について講演 第16回肝臓病教室



多くの市民が参加した肝臓病教室

12月1日(土)午前10時30分から「肝臓病に関連したおなかの病気」をテーマに、第16回肝臓病教室が附属滝井病院南館7階会議室で開催されました。内科学第三講座の鉢嶺大作診療講師(消化器肝臓内科)が「肝硬変と胃や腸の話～内視鏡からみた肝臓病～」、臨床検査部の松本浩次主任が「肝臓病の検査～たんぱく分画からみた肝臓病～」、同じく臨床検査部の徳野桂子主任が「超音波検査でわかるおなかの病気」とそれぞれ題して講演しました。参加者51名は講師のわかりやすい説明に熱心に聞き入り、活発な質疑応答もあるなど充実した内容となりました。また、恒例の健康運動指導士によるストレッチ体操も好評でした。

中学生が附属滝井病院で職場体験

11月に中学生の職場体験が実施され13日(火)、14日(水)には守口市立八雲中学校の生徒2名が、21日(水)、22日(木)には大阪市立今市中学校の生徒3名がそれぞれ参加しました。看護部では患者さんの体拭きや回診見学などを、臨床検査部では血液検査や尿検査などを、病歴情報課ではカルテ整理を主に行いました。体験を終えた生徒たちからは「患者さんを第一に考え、助け合う病院スタッフに感動した」「将来、病院で働きたいという気持ちが強くなった」といった感想が聞かれました。

香里病院

ハンドベル演奏でクリスマス気分満喫

12月1日(土)午後2時30分から香里病院2階エントランスホールにて、クリスマスコンサートが開催されました。大阪聖母女学院中学校の生徒の皆さんが、ハンドベルで「赤鼻のトナカイ」や「もろびとこぞりて」などポピュラーな曲目を中心に演奏しました。また、当院の職員もクリスマス用のアクセサリを身につけ雰囲気を一層盛り上げていました。聴衆は入院患者さんを中心に106名で、しばしのクリスマス気分を満喫されていました。



ハンドベル演奏で盛り上がる会場

医療安全・感染対策相互ラウンド受審

12月13日(木)午後1時から日本私立医科大学協会主催で、第2回目となる「医療安全・感染対策相互ラウンド」を受審しました。評価者は産業医科大学若松病院の副病院長、医師、副看護部長、臨床検査技師、事務員の計5名でした。当日は医療安全関係と感染対策関係に分かれ、評価表に基づくディスカッションの後、現場確認と講評がありました。講評においては、研修会への出席状況や薬剤耐性菌の検出データなどについて高評価をいただきました。

附属看護専門学校

◆11～12月の主な行事

日程	行事名	場 所
11月17日	推薦入試	高殿学舎

日程	行事名	場 所
12月14日	キャンドルサービス	附属滝井病院

牧野への学舎移転が決定

本学医学部第1学年の枚方新学舎への移転に伴い、附属看護専門学校が現在の高殿学舎から医学部1学年が使用している牧野キャンパスへ移転することが決定しました。平成25年1月から移転準備作業を開始し、6月に改装工事、夏季休暇期間に引越しをそれぞれ行い、2学期が開始する8月の第4週に移転開講する予定です。

ひと足早い音と光のメリークリスマス 第27回キャンドルサービス

12月14日(金)に附属滝井病院において、附属看護専門学校学生によるキャンドルサービスが行われました。クリスマスまであと10日余りとなったこの日の病院全体は柔らかな灯と温かな歌声によって幻想的な雰囲気に包まれました。このイベントは患者の皆さんに安らぎのひとつと回復への希望を持っていただくとともに看護する者の優しい気持ちと奉仕の精神を養うことが目的で、今年で27回目を迎えた恒例行事です。

午後4時40分、照明が落とされた1階外来ロビーでは、この日参加した1～3学年がそれぞれのロウソクに火を灯し、数人ずつのグループに分かれて各病棟へ向かいました。学生たちが「きよしこの夜」を歌いながら、照明が落とされた各病室でロウソクの光の下、患者さん一人ひとりに言葉をかけながらクリスマスカードを手渡すと、受け取った患者さんやご家族から笑顔がこぼれ、時に涙を拭う場面も見られました。病棟を回り終えた学生たちは最後にもう一度ロビーに戻り、多くの人たちに見守られながら美しい歌声を響かせ、感動のひとつきを締めくくりました。来年度の牧野への学舎移転により、同病院でのキャンドルサービスは今回が最後になる予定です。



病棟を回り終えた学生たちは歌声を響かせる看護学生

推薦入試に41名が合格

附属看護専門学校の平成25年度推薦入学試験が11月17日(土)に同校で実施され、47名が受験しました。11月24日(土)に合格発表が行われ、男子3名を含む41名が合格しました。

卒後臨床研修センター

◆10～12月の主な行事

日程	行事名	場 所
10月7、8日 11月24、25日 12月8、9日	ACLS講習会	附属枚方病院、附属滝井病院
12月1日	臨床研修合同説明会	リーガロイヤルホテル(大阪)

研修医対象にACLS講習会開催

平成24年度のAHA(American Heart Association)認定の「ACLS講習会プロバイダーコース」が10月7日(日)～8日(月)、11月24日(土)～25日(日)、12月8日(土)～9日(日)の計3日程で、附属の枚方病院および滝井病院にて開催されました。国際救命救急協会の協力を得て研修医を対象に実施され12名、14名、13名がそれぞれ修了しました。各回2日間の過密なスケジュールでしたが、研修医たちは二次救命処置の技術習得に向けて熱心に取り組みました。このコースの修了は認定内科医、また麻酔科専門医申請時の資格要件の一つとなっており、平成25年度も引き続き、当講習会を開催する予定です。



技術習得に向けて取り組む研修医



説明に耳を傾ける参加者

臨床研修合同説明会で本学研修の特徴紹介

12月1日(土)午後4時30分からリーガロイヤルホテル(大阪)において「附属枚方病院・附属滝井病院臨床研修合同説明会」が開催されました。今回は5年生が対象で本学から48名、学外から19名の計67名の医学学生が参加しました。説明会では、金子一成卒後臨床研修センター長、高山康夫香里病院長の挨拶の後、本学の研修プログラムについて金子センター長が解説したほか、事務局からクリニカル・シミュレーションラボについて、腎泌尿器外科の滝澤奈恵助教から女性医師の職場環境について紹介、また大阪府済生会泉尾病院の唐川正洋院長から、臨床研修における本学と同病院の連携に関する説明がありました。さらに、現役の研修医が本学研修の特徴や体験談について話しました。説明会の後に開かれた懇親会では指導する立場の各科教員が加わり、参加者が個別に教員に質問するなど活発な情報交換の場になりました。

同窓会

学会報告：2012 meeting on Regulatory & Non-Coding RNAs, Cold Spring Harbor (CSH) 研究所

同窓会理事 木村 富紀(48回生)



写真1

昨年8月末から9月初めにかけて、米国のCSH研究所で開催された「制御性RNAとタン

パク質非コード性RNAに関する会議(2012 meeting on Regulatory & Non-Coding RNAs)」に出席してきました。同研究所はニューヨーク、マンハッタンセントラルステーションから電車で約1時間の距離に位置するロングアイランドの港町にあります(写真1; Wikimedia commonsに掲載のAdm Oxalate撮影写真を引用)。この研究所は、DNAの二重らせん構造を発見したJames Watsonが、2007年迄所長を務めていたことでも知られ、会議が開催されたGrace Auditoriumには彼の功績をたたえ、二重らせんのモニュメントが展示されていました(写真2)。

学会は、8月28日夜から9月1日午後迄4間にわたり、タンパク質をコードしない非コードRNAが構成する制御性RNAの生物学について、最先端の発表と討論が繰り返されました。その中で参加者の興味を最も引いた発表は、ヒトゲノムから読み出されるRNAの90%以上を占める非コードRNAの機能解明を目的として2003年に開始されたENCODE (Encyclopedia of DNA Elements) プロジェクトの完了報告(文献1)でした。

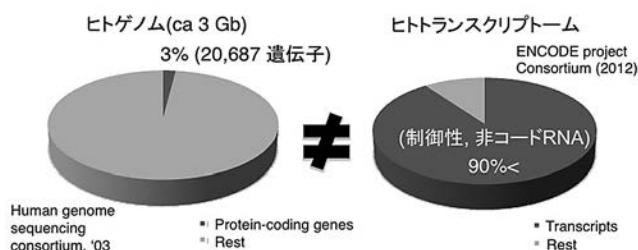
Watsonと共にノーベル生理学・医学賞を受賞した

Francis Crickが提唱したセントラルドグマにあるように、RNAはこれまで、DNAにコードされる遺伝情報を機能分子であるタンパク質に変換するための青写真にすぎないと見なされてきました。ところが、2003年に発表されたヒトゲノムの全塩基配列から、タンパク質の遺伝情報をコードするDNAすなわち遺伝子はゲノムのわずか3%を占めるにすぎないことが明らかになりました。この結果は、「DNAはタンパク質をコードす



写真2

図1 ゲノムからの転写産物の大部分はタンパク質をコードしない非コードRNAである。



る。」と定義づけるセントラルドグマに明白に反しており、ゲノムの残り97%が何をしているかについてRNA研究者の興味をかき立てました。その後の研究から、RNAは、3%にあたる遺伝子DNAからのみ写し取られる(転写される)のではなく、タンパク質非コード領域である残りのゲノムの大部分からも転写されていることが示されました(図1)。今回のENCODE完了報告は、このタンパク質情報をコードせず、遺伝子由来しないRNA機能を全ゲノムレベルで解析しており、これまでDNA情報の単なるコピーにすぎないと考えられてきたRNAが、実は様々な生物機能を制御していることを明らかにしました(図1)。発表終了後、セッション座長のGingeras教授(CSH研究所)は「従来からの遺伝子の定義を考え直す時が来た。」とコメントしましたが、彼の発言がこの報告の重要性を如実に示していると思います。

私は、5年前に関西医科大学から立命館大学に異動し、その後この非コードRNAの制御機能の研究を進めてきました。今回の会議ではその成果の一端(文献2、3)を報告しましたが、分子生物学研究が新たな幕開けを迎える瞬間に立ち会うことができたのは大変な幸運だったと感じています。

文 献

1. J. R. Ecker News & Views: ENCODE explained. *Nature*, 489: 52-53, 2012.
2. T. Kimura, S. Jiang, M. Nishizawa, et al. Stabilization of human interferon- α 1 mRNA by its antisense RNA. *Cellular and Molecular Life Sciences*, 2013, in press.
3. M. Nishizawa, T. Okumura, Y. Ikeya, T. Kimura Regulation of inducible gene expression by natural antisense transcripts. *Frontiers in Bioscience*, 17: 938-958, 2012.

平成25年同窓会新年会のご案内

平成25年の同窓会新年会と枚方新学舎見学会を枚方にて、学内支部の担当で開かせていただきます。竣工直前で、かつオープン前の新学舎の内部を見学出来る唯一の機会です。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

開催日 平成25年2月3日(日)
 集合場所 附属枚方病院正面玄関(京阪電車枚方市駅下車) TEL072-804-0101
 会費 5,000円

- 1) 枚方新学舎見学会 午前11時～
 - 2) 懇親会 正午～ 枚方病院13階レストラン「のぞみ」にて開催
- 申込み問合せ先: 同窓会事務局まで TEL06-6993-0121

締切 1月21日(月)

研究助成のご案内

財団法人加多乃会・関西医科大学同窓会には学術・研究振興、教育・研修などを助成する制度があります。平成25年度の募集は2月初旬に予定しています。2月初旬以降に加多乃会ホームページ(<http://priv.kmu.ac.jp/katano/index.html>)に掲載します。

メディア情報

教職員メディア情報

新聞・雑誌・テレビ等マスコミの取材、テレビ出演、また記事を掲載された教職員の方々を紹介します。

(平成24年11月1日～12月31日 *判明のみ)

垣 貴司 講師 (病理学第二講座)	週刊文春 11月22日号、29日号	「輸入牛肉で発がんリスクが5倍になる」「輸入牛肉で日本の子供が壊れてゆく」をそれぞれテーマにした2週連載の特集で、垣講師のコメントが掲載されました。
山下 敏夫 理事長・学長	読売新聞 11月25日(日)	「都会の大学」をテーマにした特集で、本学の新学舎に関する内容と山下理事長・学長のコメントが掲載されました。
松田 公志 副学長	読売新聞 11月30日(金)夕刊	「私立大学医学部の学費値下げ」をテーマにした記事で、平成25年度入学生から学費を下げる本学が紹介され、松田副学長のコメントが掲載されました。
里井 壮平 講師 柳本 泰明 診療講師 (外科学講座)	毎日放送「VOICE」 12月18日(火) 午後6時20分～6時30分頃	「すい臓がん治療の最前線を追う」をテーマにした特集番組で、最新の集学的治療の概要や特徴に関して説明しました。
附属滝井病院	朝日新聞 12月18日(火)	附属滝井病院のリニューアルに関する記事が掲載されました。
赤根 敦 教授 (法医学講座)	毎日新聞 12月27日(木)	DNA型鑑定など科学的証拠を刑事裁判で扱う注意点についてまとめられた最高裁研究報告書に関する記事で、専門家からの声として、赤根教授のコメントが掲載されました。

*このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではございません。

お知らせ

医学部卒業式のお知らせ

「平成24年度医学部卒業式」が3月6日(水)午後1時から、附属滝井病院本館6階大講堂で執り行われます。

日 時：3月6日(水)午後1時～

会 場：附属滝井病院本館6階大講堂

附属看護専門学校卒業式のお知らせ

「平成24年度附属看護専門学校卒業式」が3月7日(木)午前10時から、同校講堂で執り行われます。

日 時：3月7日(木)午前10時～

会 場：附属看護専門学校講堂

編集後記

2013年がめでたくスタートしました。今年もよろしくお願いたします。皆さんの初夢はいかがでしたか。私たちの夢の新学舎は「正夢」となり、いよいよ新たな歴史の幕が開けます。山下理事長・学長は年頭所感で「将来の夢の実現に情熱を持って共に歩んで下さい」と呼び掛けました。

今年の干支・巳年は「実を結ぶ年」を意味するともいわれます。新学舎開設を迎える2013年の本学に、まさに打ってつけの干支です。これまで以上に熱く業務に取り組み、花開く一年にしましょう。(起)

3/23に枚方新学舎竣工式

本学枚方新学舎の竣工式、竣工披露宴、施設披露は3月23日(土)午前11時から午後4時に、現地(枚方市新町2-5-1)にて執り行われます。

<当日の予定>

■竣工式 時 間：午前11時～11時45分
(神事) 場 所：地下1階加多乃講堂

■竣工披露宴 時 間：正午～午後1時30分
(直会) 場 所：3階学生食堂

■施設披露 時 間：午後1時30分～午後4時
場 所：順路方式にて施設披露

関西医科大学広報 Vol.20

発 行 学校法人 関西医科大学
編 集 総務部 広報課
〒570-8506 大阪府守口市文園町10-15
TEL 06-6992-1001(代表)
FAX 06-6993-5221

<http://www.kmu.ac.jp/>

E-mail kmuinfo@takii.kmu.ac.jp

平成25年1月15日(火)発行